
モニタリングサイト 1000 沿岸域調査 (藻場調査)

調査データの概要と利用上の注意点

(2017年9月版)

目次

I. 利用上の注意点.....	1
II. データセットの概要.....	2
毎年調査.....	2
① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	2
② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	3
5年毎調査.....	4
③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ.....	4
④ 海藻押し葉標本のデータ.....	4
III. データファイルの種類とその概要.....	5
毎年調査.....	5
① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	5
② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	5
5年毎調査.....	6
③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ.....	6
④ 海藻押し葉標本のデータ.....	6
IV. データ項目の説明.....	7
毎年調査.....	7
① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	7
② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ.....	9
5年毎調査.....	13
③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ.....	13
④ 海藻押し葉標本のデータ.....	15
V. 参考情報.....	18

I. 利用上の注意点

- ▶ 本文書にはモニタリングサイト 1000 沿岸域調査（藻場調査）で得られた調査データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が示されています。データをご利用される際には、必ず「本文書」及び「マニュアル」をお読み下さい。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- ▶ モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）では、絶滅危惧種や希少種に関わる情報や緯度経度等の詳細な位置情報を、一部保護情報として取り扱っており、データファイルにはこれらの保護情報は含まれていません。保護情報を含めたデータの利用を希望される場合には、環境省自然環境局生物多様性センター（巻末に連絡先を掲載）までお問い合わせ下さい。
- ▶ 調査はマニュアルに従って実施されています。ただし、モニタリングを効果的に実施するために、調査方法等が毎年検討されており、その検討結果を受けて、調査マニュアルの記載内容が変更されている場合があります。データのご利用に当たっては、調査報告書に掲載されている当該年度の調査マニュアルをご参照されるようお願いいたします。
- ▶ 本事業に関しては、環境省自然環境局生物多様性センターのモニタリングサイト 1000 ホームページ（<http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>）をご参照下さい。
- ▶ 論文やプレゼンテーション等でデータを利用される際には、下記の例を参考にデータの出典を明記して下さい。

「xxx のデータについては、環境省モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（MOB**.zip、http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_algalbeds.html、よりダウンロード）。」

“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (MOB**.zip, downloaded from http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_algalbeds.html).”

注：「**」にはダウンロードしたデータの番号をいれてください（01, 02 等）。

- ▶ データに関するご質問は、環境省自然環境局生物多様性センターまでご連絡下さい。
- ▶ データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わりますのでご注意ください。
- ▶ 本注意点は、予告なく変更する場合があります。また、新たなデータファイルの公開に併せて項目追加等を更新します。

II. データセットの概要

毎年調査

調査の概要

- ・ 2009 年度から年 1 回調査を実施しています。
- ・ 調査時期は原則として 5 月から 9 月に設定されています。
- ・ 2008 年度は志津川、淡路由良、薩摩長島サイトにて、試行的な調査が実施されました。そのため、2009 年度以降のデータとは、調査時期や方法が異なる場合があります。
- ・ 伊豆下田、竹野サイトは 2009 年度から、室蘭サイトは 2011 年度から調査を開始しました。
- ・ 2016 年度時点で藻場調査のサイト数は 6 サイトです。
- ・ 各サイトでは、毎年同じ場所で海藻の消長を観察することを目的とした永久方形枠調査と、当該海域における海藻の帯状分布を把握するためのライン調査を実施しています。
- ・ 方形枠は永久方形枠調査で使用する「2 m×2 m の永久方形枠」と、ライン調査で使用する「50 cm×50 cm の方形枠」の 2 種類があります。
- ・ 出現した海藻種及びその被度については、林冠と下草に分けて記録しています。

① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ(永久方形枠調査)

- ・ 各サイトに永久方形枠を 3～6 個設置し、方形枠内に生育する主な植物種名とその被度を記録しています。

② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ(ライン調査)

- ・ 定められた起点から沖に向かって調査側線を設定し、概ね一定間隔に配置された 10～20 個程度の方形枠内に出現した主な植物種名とその被度を記録しています。

- ・ 調査方法の詳細については、各データが取得された調査報告書に掲載されているモニタリングマニュアルをご参照ください。

(<http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/index.html>)

① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

「MOB01.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- ・ ABMRN_permanent_2011-2012_Annual_ver1.csv
- ・ ABMRN_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ・ ABSDG_permanent_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ・ ABSDG_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ・ ABSMD_permanent_2009-2012_Annual_ver1.csv
- ・ ABSMD_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ・ ABTKN_permanent_2009-2012_Annual_ver1.csv

- ABTKN_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABYRA_permanent_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ABYRA_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABNGS_permanent_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ABNGS_permanent_2013-2016_Annual_ver1.csv

② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

「MOB02.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- ABMRN_line_2011-2012_Annual_ver1.csv
- ABMRN_line_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABSDG_line_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ABSDG_line_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABSMD_line_2009-2012_Annual_ver1.csv
- ABSMD_line_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABTKN_line_2009-2012_Annual_ver1.csv
- ABTKN_line_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABYRA_line_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ABYRA_line_2013-2016_Annual_ver1.csv
- ABNGS_line_2008-2012_Annual_ver1.csv
- ABNGS_line_2013-2016_Annual_ver1.csv

5 年毎調査

調査の概要

- ・ 2011 年度から 5 年に 1 回調査を実施しています。
- ・ 調査時期は原則として 5 月から 9 月に設定されています。
- ・ 2016 年度時点での調査サイト数は 6 サイトです。
- ・ 各サイトでは、調査対象群落を代表する海藻種の生物量を推定するため、単位面積あたりに出現する海藻を刈り取り、その重量（湿重量または乾燥重量）を測定しています。
- ・ 調査対象群落を代表する海藻の押し葉標本を作製しています。

③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ(坪刈り)

- ・ 調査対象群落に「50 cm×50 cm の方形枠」を新たに 1 つ置き、枠内に出現した植物を刈り取り、種ごとに分けて湿重量または乾燥重量を測定しています。

④ 海藻押し葉標本のデータ(押し葉標本)

- ・ 調査対象群落に出現する代表的な海藻種を採集し、押し葉標本を作製しています。

- ・ 調査方法の詳細については、各データが取得された調査報告書に掲載されているモニタリングマニュアルをご参照ください。

(<http://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/index.html>)

③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ

「MOB03.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- ・ ABMRN_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABSDG_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABSMD_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABYRA_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABTKN_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABNGS_biomass_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv

④ 海藻押し葉標本のデータ

「MOB04.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- ・ ABMRN_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABSDG_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABSMD_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABYRA_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABTKN_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv
- ・ ABNGS_specimen_2011-2016_Fiveyear_ver1.csv

III. データファイルの種類とその概要

毎年調査

① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

【ABxxx_permanent_20xx-20xx_Annual_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード(AB)・サイトコード(xxx)_永久方形枠調査(permanent)_年度(20xx-20xx)_調査の種別(Annual)_バージョン(ver#)」となっています。
- サイト毎及び5年単位(2008-2012年度、2013-2016年度)で個別のファイルになっています。
- 毎年調査(永久方形枠調査)のデータ(調査日、植物種名、被度、水深等)が格納されています。
- 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

室蘭	MRN
志津川	SDG
伊豆下田	SMD
竹野	TKN
淡路由良	YRA
薩摩長島	NGS

② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

【ABxxx_line_20xx-20xx_Annual_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード(AB)・サイトコード(xxx)_ライン調査(line)_年度(20xx-20xx)_調査の種別(Annual)_バージョン(ver#)」となっています。
- サイト毎及び5年単位(2008-2012年度、2013-2016年度)で個別のファイルになっています。
- 毎年調査(ライン調査)のデータ(植物種名、被度、起点からの距離、水深等)が格納されています。
- 全サイトに保護情報が含まれています。

サイトコード一覧

室蘭	MRN
志津川	SDG
伊豆下田	SMD
竹野	TKN

淡路由良	YRA
薩摩長島	NGS

5 年毎調査

③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ

【ABxxx_biomass_20xx-20xx_Fiveyear_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード (AB) ・サイトコード (xxx) _生物量 (biomass) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- サイト毎に個別のファイルになっています。
- 5 年毎調査 (坪刈り) のデータ (調査日、和名、学名、湿重量 (g) 等) が格納されています。

サイトコード一覧

室蘭	MRN
志津川	SDG
伊豆下田	SMD
竹野	TKN
淡路由良	YRA
薩摩長島	NGS

④ 海藻押し葉標本のデータ

【ABxxx_specimen_20xx-20xx_Fiveyear_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード (AB) ・サイトコード (xxx) _標本 (specimen) _年度 (20xx-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- サイト毎に個別のファイルになっています。
- 5 年毎調査 (採集された標本) のデータ (調査日、科名、和名、学名、同定者等) が格納されています。

サイトコード一覧

室蘭	MRN
志津川	SDG
伊豆下田	SMD
竹野	TKN
淡路由良	YRA
薩摩長島	NGS

IV. データ項目の説明

毎年調査

① 永久方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は AP（Annual_permanent）
（例）MRNAP0000001: 室蘭サイト（MRN）の毎年調査の永久方形枠調査（AP）

●investigator_id：調査者番号

- ・沿岸域調査（藻場調査）調査者データベース（AlgalbedsDataPackage_ResearcherDB）の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査（開始、終了）年

- ・4桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査（開始、終了）月

- ・2桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・調査月（month_collected）が明確でない場合は調査開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査（開始、終了）日

- ・2桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・調査日（day_collected）が明確でない場合は調査開始日の値で表示

●time_of_day、start_time_of_day、end_time_of_day：調査（開始、終了）時間

- ・24時間で表示

●time_zone：標準時

- ・±hh:mmで表示

●quadrat_number：方形枠番号

- ・アルファベットで表示
- ・2008～2010年度の志津川サイト、2009～2010年度の伊豆下田サイトでは、永久方形枠をアルファベットではなく「赤・白・黄」で表記していたが、それぞれを「赤 = A、白 = B、黄 = C」と表記を変更して表示しています。

●latitude：緯度、longitude：経度

- ・永久方形枠が設置されている周辺の緯度と経度
- ・世界測地系 WGS84、10進法、小数点以下第2位まで表示

●scientific_name：学名、japanese_name：和名

- ・出現種の学名、和名
- ・2008-2012年度のデータは「吉田忠生・吉永一男 (2010) 日本産海藻目録 (2010年改訂版). 藻類 58: 69-122」を、2013-2016年度のデータは「吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 (2015) 日本産海藻目録 (2015年改訂版). 藻類 63: 129-189」を参照
- ・調査報告書の報告書データファイル（表形式）と学名、和名が異なる場合があります。
- ・種の同定が困難な場合は、上位分類群までの同定に留めています。

●coverage：出現種の被度 (%)

- ・出現種の被度は2 m×2 mあたりの値
- ・5%単位で表示
- ・5%未満の場合は"+"で表記

●canopy_or_undergrowth：階層区分

- ・林冠または下草に分けて表記
- ・林冠構成種：藻場の最上層を形成する種類
- ・下草：下層に生育する種類。林冠を構成する種であっても、最上層を形成しない幼体等は下草に含まれる場合があります。

●life_stage：成長段階

- ・出現種の成長段階
- ・幼体：種としての大きさにかかわらず、成体サイズに達しない個体
- ・小型個体：成体や幼体にかかわらず、小さな個体

●cdl_corrected_depth：最低水面 (CDL) からの補正水深 (m)

- ・実測水深、調査時間、調査時の当該サイトの予測潮位、最寄りの検潮所の潮位偏差から算出
- ・CDLからの水深は陸側をプラス、海側をマイナスで表記

●measured_depth：実測水深（m）

- ・海面からの水深は陸側をプラス、海側をマイナスで表記

●substrate：底質（基質）

- ・見た目の底質
- ・割合の多い順に「、」で区分し、割合が同じ場合は「・」で表記
(例) 転石>岩盤>砂 →「転石、岩盤、砂」、転石=岩盤 →「転石・岩盤」
- ・底質の区分
(例) 岩盤：露出した地殻の一部、岩塊：等身大以上の大きな石、巨礫：人頭大～等身大、大礫：拳大～人頭大、小礫：米粒大～拳大、砂：肉眼で認識可能な粒子～米粒大、泥：肉眼で認識不可能な粒子等

●remarks：調査（地点）の備考

- ・調査や調査地点に関する備考

●remarks_on_identification：同定に関する備考

- ・出現種の同定に関する備考

●source：レコードの出典

- ・データの出典元に関する情報
(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域（磯・干潟・アマモ場・藻場）調査業務報告書

※データがない（欠測値、該当なし等）場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない（未確定、異常値等）場合は「na」とした。

② 方形枠内に出現した海藻種とその被度及びそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は AL（Annual_Line）
(例) MRNAL0000001: 室蘭サイト（MRN）の毎年調査のライン調査（AL）

●investigator_id：調査者番号

- ・沿岸域調査（藻場調査）調査者データベース（AlgalbedsDataPackage_ResearcherDB）の番号と対応
- year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査（開始、終了）年
 - ・4桁の整数で表示
- month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査（開始、終了）月
 - ・2桁の整数で表示
 - ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
 - ・調査月（month_collected）が明確でない場合は調査開始月の値で表示
- day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査（開始、終了）日
 - ・2桁の整数で表示
 - ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
 - ・調査日（day_collected）が明確でない場合は調査開始日の値で表示
- time_of_day、start_time_of_day、end_time_of_day：調査（開始、終了）時間
 - ・24時間で表示
- time_zone：標準時
 - ・±hh:mmで表示
- quadrat_number：方形枠番号
 - ・整数で表示
- distance_from_basepoint：起点からの距離（m）
 - ・整数で表示
- latitude：緯度、longitude：経度
 - ・調査側線起点の緯度と経度
 - ・世界測地系 WGS84、10進法、小数点以下第4位までで表示
- scientific_name：学名、japanese_name：和名
 - ・出現種の学名、和名
 - ・2008-2012年度のデータは「吉田忠生・吉永一男（2010）日本産海藻目録（2010年改訂版）. 藻類 58：69-122」を、2013-2016年度のデータは「吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男（2015）日本産海藻目録（2015年改訂版）. 藻類 63：129-189」を参照
 - ・調査報告書の報告書データファイル（表形式）と学名及び和名が異なる場合があります。
 - ・種の同定が困難な場合は、上位分類群までの同定に留めています。

●coverage：出現種の被度（%）

- ・出現種の被度は50 cm×50 cmあたりの値
- ・5%単位で表示
- ・5%未満の場合は"+"で表記

●canopy_or_undergrowth：階層区分

- ・林冠または下草に分けて表記
- ・林冠構成種：藻場の最上層を形成する種類
- ・下草：下層に生育する種類。林冠を構成する種であっても、最上層を形成しない幼体等は下草に含まれる場合があります。

●life_stage：成長段階

- ・出現種の成長段階
- ・幼体：種としての大きさにかかわらず、成体サイズに達しない個体
- ・小型個体：成体や幼体にかかわらず、小さな個体

●cdl_corrected_depth：最低水面（CDL）からの補正水深（m）

- ・実測水深、調査時間、調査時の当該サイトの予測潮位、最寄りの検潮所の潮位偏差から算出
- ・CDLからの水深は陸側をプラス、海側をマイナスで表記

●measured_depth：実測水深（m）

- ・海面からの水深は陸側をプラス、海側をマイナスで表記

●substrate：底質（基質）

- ・見た目の底質
- ・割合の多い順に「、」で区分し、割合が同じ場合は「・」で表記
（例）転石>岩盤>砂 →「転石、岩盤、砂」、転石=岩盤 →「転石・岩盤」
- ・底質の区分
（例）岩盤：露出した地殻の一部、岩塊：等身大以上の大きな石、巨礫：人頭大～等身大、大礫：拳大～人頭大、小礫：米粒大～拳大、砂：肉眼で認識可能な粒子～米粒大、泥：肉眼で認識不可能な粒子等

●remarks：調査（地点）の備考

- ・調査や調査地点に関する備考

●remarks_on_identification：同定に関する備考

- ・出現種の同定に関する備考

●source:レコードの出典

- ・データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査業務報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

5 年毎調査

③ 坪刈りによる海藻種ごとの重量とそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FB (Fiveyear_Biomass)
- (例) MRNFB0000001: 室蘭サイト (MRN) の 5 年毎調査の坪刈り (FB)

●investigator_id：調査者番号

- ・沿岸域調査（藻場調査）調査者データベース (AlgalbedsDataPackage_ResearcherDB) の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：調査（開始、終了）年

- ・4 桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：調査（開始、終了）月

- ・2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：調査（開始、終了）日

- ・2 桁の整数で表示
- ・一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
- ・調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示

●time_zone：標準時

- ・±hh:mm で表示

●quadrat_number：方形枠番号

- ・整数で表示

●latitude：緯度、longitude：経度

- ・永久方形枠が設置されている周辺の緯度と経度
- ・世界測地系 WGS84、10 進法、小数点以下第 2 位まで表示

- scientific_name : 学名、japanese_name : 和名
 - ・出現種の学名、和名
 - ・2011年度のデータは「吉田忠生・吉永一男 (2010) 日本産海藻目録 (2010年改訂版). 藻類 58 : 69-122」を、2016年度のデータは「吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 (2015) 日本産海藻目録 (2015年改訂版). 藻類 63 : 129-189」を参照
 - ・調査報告書の報告書データファイル (表形式) と学名及び和名が異なる場合があります。
 - ・種の同定が困難な場合は、上位分類群までの同定に留めています。

- number_of_individuals : 個体数
 - ・整数で表示

- remarks_on_quadrat : 方形枠の備考
 - ・方形枠内に関する備考

- remarks_on_identification : 同定の備考
 - ・出現種の同定に関する備考

- wet_weight、sum_of_wet_weight : 方形枠内に出現した植生帯に優占する植物種毎の湿重量 (g) とその湿重量の合計 (g)
 - ・小数点第1位まで表示
 - ・方形枠は各植生帯で数個設置している場合があります。
 - ・刈り取りを実施した方形枠のサイズは50cm四方です。

- dry_weight、sum_of_dry_weight : 方形枠内に出現した植生帯に優占する植物種毎の乾燥重量 (g) とその乾燥重量の合計 (g)
 - ・小数点第1位まで表示
 - ・方形枠は各植生帯で数個設置している場合があります。
 - ・刈り取りを実施した方形枠のサイズは50cm四方です。

- source:レコードの出典
 - ・データの出典元に関する情報
(例) 平成23年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場) 調査業務報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

④ 海藻押し葉標本のデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

●catalog_number：カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FS (Fiveyear_Specimen)
- (例) MRNFS0000001: 室蘭サイト (MRN) の 5 年毎調査の押し葉標本 (FS)

●investigator_id：調査者番号

- ・沿岸域調査（藻場調査）調査者データベース (AlgalbedsDataPackage_ResearcherDB) の番号と対応

●year_collected、start_year_collected、end_year_collected：採集（開始、終了）年

- ・4桁の整数で表示

●month_collected、start_month_collected、end_month_collected：採集（開始、終了）月

- ・2桁の整数で表示
- ・一回の採集期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・採集月 (month_collected) が明確でない場合は採集開始月の値で表示

●day_collected、start_day_collected、end_day_collected：採集（開始、終了）日

- ・2桁の整数で表示
- ・一回の採集期間が1日の場合は、全て同じ値
- ・採集日 (day_collected) が明確でない場合は採集開始日の値で表示

●time_zone：標準時

- ・±hh:mm で表示

●latitude：緯度、longitude：経度

- ・永久方形枠が設置されている周辺の緯度と経度を世界測地系 (WGS84、10進法、小数点以下第2位) で表示

●phylum (門)、class (綱)、order (目)、family (科)：門名、綱名、目名、科名

- ・出現種の門名、綱名、目名、科名

- ・ 2011 年度のデータは「吉田忠生・吉永一男 (2010) 日本産海藻目録 (2010 年改訂版). 藻類 58 : 69-122」を、2016 年度のデータは「吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 (2015) 日本産海藻目録 (2015 年改訂版). 藻類 63 : 129-189」を参照
- ・ 調査報告書の報告書データファイル（表形式）と表記が異なる場合があります。

●scientific_name : 学名、japanese_name : 和名

- ・ 出現種の学名、和名
- ・ 2011 年度のデータは「吉田忠生・吉永一男 (2010) 日本産海藻目録 (2010 年改訂版). 藻類 58 : 69-122」を、2016 年度のデータは「吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 (2015) 日本産海藻目録 (2015 年改訂版). 藻類 63 : 129-189」を参照
- ・ 調査報告書の報告書データファイル（表形式）と表記が異なる場合があります。
- ・ 種の同定が困難な場合は、上位分類群までの同定に留めています。

●identified_by : 同定者

- ・ 同定者の氏名

●year_identified : 同定年

- ・ 4 桁の整数で表示
- ・ 同定年が明確でない場合は採集年（year_collected）の値で表示

●month_identified, day_identified : 同定月、同定日

- ・ 2 桁の整数で表示
- ・ 同定月日が明確でない場合は採集月日（month_collected, day_collected）の値で表示

●remarks_on_identification : 同定の備考

- ・ 出現種の同定に関する備考

●collector : 採集者

- ・ 採集者の氏名

●locality : 採集場所

- ・ 採集された場所の都道府県および市町村名

●source : レコードの出典

- ・ データの出典元に関する情報
(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域（磯・干潟・アマモ場・藻場）調査業務報告書

●specimen_No : 押し葉標本の番号

- ・ 標本に付属している整理番号

※データがない（欠測値、該当なし等）場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない（未確定、異常値等）場合は「na」とした。

V. 参考情報

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

<http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）調査マニュアル

<http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

吉田忠生・吉永一男 (2010) 日本産海藻目録 (2010 年改訂版). 藻類 58 : 69-122

吉田忠生・鈴木雅大・吉永一男 (2015) 日本産海藻目録 (2015 年改訂版). 藻類 63 : 129-189

作成 2017年 9月

編集・発行

環境省自然環境局生物多様性センター

担当：生態系監視科

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

Tel : 0555-72-6033 FAX : 0555-72-6035

E-mail : mot@biodic.go.jp

URL: <http://www.biodic.go.jp/>

事務局

特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 17-1

城野ビル II 2F

Tel : 03-5614-2150 FAX : 03-6806-4187

URL: <http://japan.wetlands.org/>